

## 都市のウォータースケープ計画に関する国際ワークショップ 水によみがえる懐かしい未来都市 堺

全体期間

2005. 11

かつて多くの都市に身近に存在し、都市の重要な景観を形成していた水辺や水路は、市街化の進展とともに消失しつつある。しかしながら、近年、社会資本の更新時期を迎え都市再生の動きが活発化する中で、都市における水空間の価値が再評価され、その保全・再生・創出を通じて都市の魅力の向上と地域社会の活性化を図る動きが見られるようになってきた。

そこで「水と緑のまちづくり」を進める国土交通省と平成18年度の指定市移行に向け、美しい歴史的風景の再生に取り組む堺市とが協力し、国際ワークショップを開催した。

ワークショップでは、下水道による水環境の改善やウォーターフロントの整備について、海外から6名の専門家を招聘し、先進事例の講演と世界の先進事例に関する学習を通じ、「水」を活用した都市景観形成の方策を探った。

以下に、ワークショップの概要を紹介する。

### (ワークショップの概要)

- 日 時：2005年 11月28日(月) 13:00～17:00
- 場 所：リーガロイヤルホテル堺 ロイヤルホール
- 主 催：国土交通省・堺市
- 定 員：150名(当日の参加者：200名)
- 費 用：無料

### (プログラム)

- 開会挨拶 堺市長 木原 敬介
- 基調報告 「清流と美しい水辺をめざして」  
国土交通省都市・地域整備局下水道部長 谷戸 善彦  
(北側国土交通大臣の代理として)
- 講 演 「下水道がめざす水循環」  
堺市上下水道局下水道部長 谷川 健  
「三都物語：なぜ水質改善がウォーターフロント開発のために重要なのか」  
サンフランシスコ湾研究所 理事長 マイケル・コナー  
「都市のウォーターフロント戦略」  
米国ウォーターフロントセンター 理事長 アン・グリーン  
「ウォーターフロント受賞プロジェクトを振り返る」  
米国ウォーターフロントセンター 理事 ディック・リグビー  
「チェサピーク湾再生におけるノーフォーク市の役割」  
米国ノーフォーク市環境局担当課長 エドウィン・ローゼンバーグ  
「チューリッヒの小川再生計画」  
スイス国(元)チューリッヒ市下水道担当部長 フリッツ・コンラディン  
「ソウル市清溪川復元の歴史的背景および展望」  
韓国ソウル市開発研究所上席研究員 キム・カプス
- ディスカッション(質疑応答含む)
- 閉会挨拶 国土交通省 都市・地域整備局下水道部流域管理官 藤木 修

研究担当者：堀江 信之、加畑 雅宏、古谷 猛裕

キーワード

ウォーターフロント 都市環境 ワークショップ